

# ヤングケアラーに関する実態調査報告書【概要版】

## 調査の概要

### 1・調査の目的

本調査は、日常的に家事や家族の世話などを行っているヤングケアラーに対する支援策を検討するため、市内児童生徒を対象に「ヤングケアラーに関する実態調査」を実施し、本市におけるヤングケアラーと思われる子どもの生活実態や課題等を把握することを目的とする。

### 2・調査対象・調査期間・調査方法

#### ①小学生アンケート

調査対象：芦別市内の小学5年生・6年生の児童 113人

調査期間：令和5年12月18日～12月25日

調査方法：学校において配布回収もしくはインターネットによる回答

#### ②中学生アンケート

調査対象：芦別市内の中学生 194人

調査期間：令和5年12月18日～12月25日

調査方法：学校において配布回収もしくはインターネットによる回答

#### ③高校生アンケート

調査対象：芦別市内の高校生 208人

調査期間：令和5年12月18日～12月31日

調査方法：郵送による配布回収もしくはインターネットによる回答

### 3・回収件数および回収率

	配布数	有効回答数	有効回収率
①小学生アンケート	113人	87	77.0%
②中学生アンケート	194人	97	50.0%
③高校生アンケート	208人	69	33.2%

# 調査結果

## 1. ヤングケアラーの定義

「ヤングケアラー」とは、一般に、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども」とされていますが、本調査に当たっては、次のイラストにより説明し実施しました。

ヤングケアラーとはこんな子どもたちです



©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

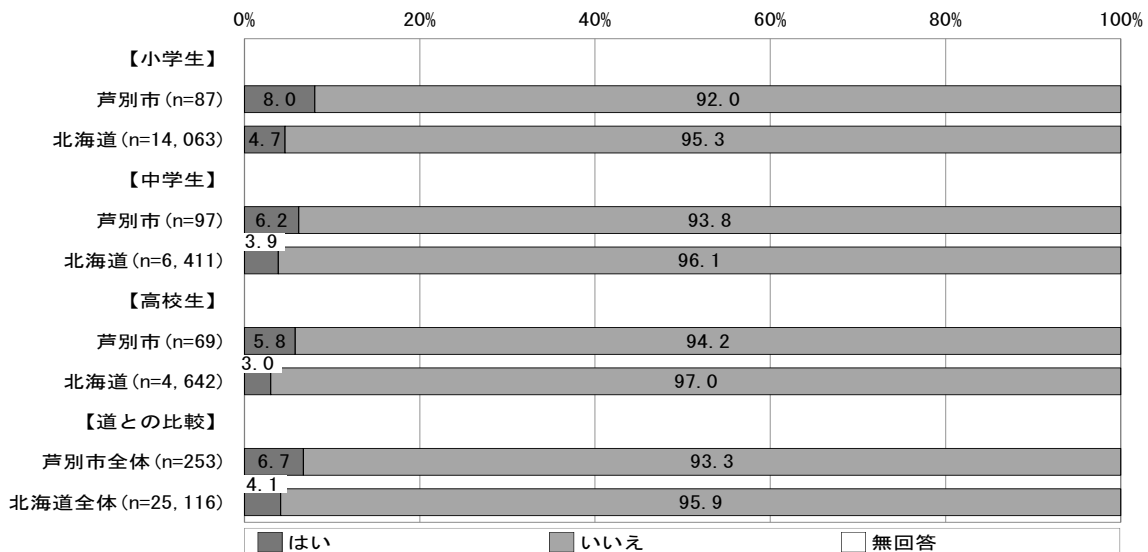
## 2. 結果の概要

### ① ヤングケアラーの割合

小学生の8.0%（7人）、中学生の6.2%（6人）、高校生の5.8%（4人）が、日常的に家族のお世話をしている状況にあり、ヤングケアラーの可能性がります。（以下、本調査では、家族を日常にお世話していることをもってヤングケアラーとする）

また、いずれも北海道と比較して高い水準にあります。

#### <ヤングケアラーかどうか>



②ヤングケアラーがお世話をしている人

ヤングケアラーがお世話をしている人は、多くが「きょうだい」と回答していますが、「母親」や「祖父」、「祖母」といった大人のお世話をしている人もいます。

北海道との比較では、特に中学生・高校生において、きょうだい以外のお世話をしている割合が高くなっています。「父親」のお世話をしている人は、北海道の結果にはみられますが、本市の今回の調査ではみられませんでした。

<あなたはだれのお世話をしていますか>

(%)	きょうだい	祖母	母親	祖父	父親
<b>【小学生】</b>					
芦別市 (n=7)	71.4	14.3	14.3	14.3	0.0
北海道 (n=654)	67.1	16.7	11.2	8.9	6.7
<b>【中学生】</b>					
芦別市 (n=6)	66.7	33.3	16.7	0.0	0.0
北海道 (n=248)	72.6	6.9	8.9	15.3	3.2
<b>【高校生】</b>					
芦別市 (n=4)	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0
北海道 (n=140)	54.3	8.6	15.0	19.3	4.3
<b>【道との比較】</b>					
芦別市全体 (n=17)	64.7	23.5	17.6	11.8	0.0
北海道全体 (n=1,042)	66.7	13.2	11.1	11.8	5.6

### ③お世話の内容

ヤングケアラーがどのようなお世話をしているかについて聞いた設問では、小学生においては、感情面のサポート（話し相手や遊び相手など）をしているケースが多くなっていますが、家事や薬の管理を担っているケースもみられます。

中学生においては、感情面のサポートをしているケースが多くなっていますが、病院への付き添いや医療的ケアといった負担の大きなものもみられます。北海道と比較すると、感情面のサポートをしている割合が特に高くなっています。

高校生においては、見守りが多くなっており、また、外出や病院への付き添いなど、時間を要する外出支援を行っているケースがみられます。北海道と比較すると、見守りやきょうだいの世話、病院への付き添いをしている割合が高くなっています。

#### <あなたがしているお世話の内容を教えてください>

(%)	話し相手、遊び相手（ぐちを聞く、感情面のサポート）	見守り	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	（買い物、外出の付き添い、散歩など）	（入浴やトイレのお世話など） 身体的な介護	病院への付き添い	薬の管理（薬を小分けにしたり、渡したりするなど）	医療的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など）
<b>【小学生】</b>									
芦別市 (n=7)	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
<b>【中学生】</b>									
芦別市 (n=6)	83.3	50.0	33.3	33.3	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7
北海道 (n=248)	39.9	56.0	47.2	35.5	35.9	12.1	4.0	0.0	0.0
<b>【高校生】</b>									
芦別市 (n=4)	25.0	75.0	50.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0
北海道 (n=140)	40.0	51.4	30.0	39.3	30.7	9.3	7.1	0.0	0.0
<b>【道との比較】</b>									
芦別市全体 (n=17)	58.8	41.2	29.4	17.6	11.8	11.8	11.8	5.9	5.9
北海道全体 (n=388)	39.9	54.4	41.0	36.9	34.0	11.1	5.2	0.0	0.0

#### ④お世話の理由

ヤングケアラーがお世話をしている理由について聞いた設問では、小学生においては、お世話をしたいと思っしているケースが多くなっていますが、福祉サービスを使っていないためとする人がみられます。

中学生においては、親の多忙やきょうだいが年下(幼い)であることが主な理由となっていますが、ひとり親家庭であることや他にお世話をする人がいないことを理由とする人もみられます。

高校生においては、ひとり親家庭や親の仕事の多忙等が理由となっています。

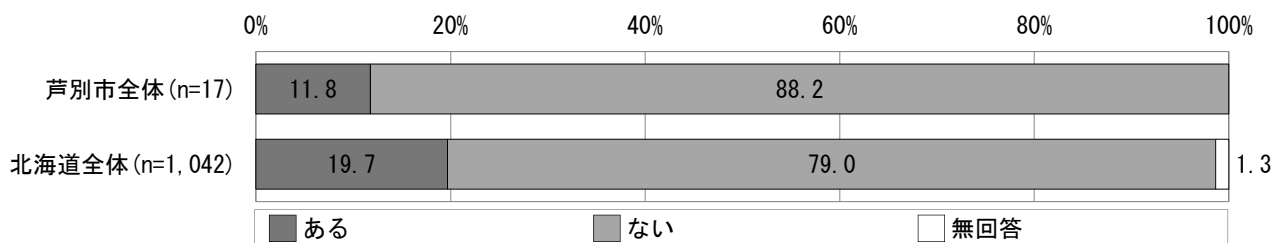
#### <あなたがお世話をする理由はなぜですか>

(%)	年下のきょうだいがいるため	親が仕事で、忙しいため	お世話をしたいと自分で思ったため	ひとり親家庭であるため	祖父母の病気や加齢、入院のため	きょうだいに障がいがあるため	福祉サービスを利用していないため	他にお世話をする人がいないため
芦別市全体 (n=17)	41.2	35.3	35.3	11.8	11.8	5.9	5.9	5.9
小学生 (n=7)	42.9	28.6	85.7	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0
中学生 (n=6)	50.0	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7
高校生 (n=4)	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0

⑤悩み相談

ヤングケアラーが、悩みを相談したことがあるかを聞いた設問では、多くが「ない」と回答しています。北海道と比較して「ある」の割合が低くなっています。

<お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したりしたことはありますか>



相談していない理由としては、小学生においては、誰かに相談するほどの悩みではないという回答が多くなっていますが、家族以外の人に相談しづらいという回答をする人もいました。中学生においては、相談して状況が変わるとは思えないという回答が多くなっています。高校生においては、小学生と同様の傾向がみられます。

北海道と比較すると、特に中学生において相談して状況が変わるとは思えないと思う割合が高くなっています。

<相談していない理由を教えてください>

(%)	誰かに相談するはほなどの	相談する家族以外の人	変わる相談とは思わな	家族のこと話したくめ、	知られたくない	偏見を持たれたくない	困らせたく相手を
<b>【小学生】</b>							
芦別市 (n=6)	66.7	33.3	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7
北海道 (n=510)	74.1	12.7	7.1	6.1	6.1	5.5	8.8
<b>【中学生】</b>							
芦別市 (n=5)	40.0	40.0	80.0	20.0	0.0	20.0	20.0
北海道 (n=202)	77.2	14.9	6.4	7.4	4.5	5.4	6.9
<b>【高校生】</b>							
芦別市 (n=4)	50.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
北海道 (n=111)	85.6	15.3	8.1	7.2	2.7	6.3	7.2
<b>【道との比較】</b>							
芦別市全体 (n=15)	53.3	33.3	26.7	20.0	13.3	13.3	13.3
北海道全体 (n=823)	76.4	13.6	7.0	6.6	5.2	5.6	8.1

⑥支援してほしいと思うこと

ヤングケアラーが支援してほしいと思うことを聞いた設問では、小学生においては、特に回答はありませんでした。中学生においては、自由に過ごせる場所がほしいという回答が複数あり、その他には、お世話の仕方の説明や自由に使える時間、金銭面の支援という回答がありました。高校生においては、金銭面の支援という回答が複数ありました。

北海道と比較すると、中学生の支援を求める割合が全体的に高く、高校生においては金銭面の支援を求める割合が高くなっています。

<お世話をしていることに関して、学校の先生や周りの大人にしてほしいことはありますか>

(%)	特 に な い	わ か ら な い	自 分 の 自 由 に 過 ご せ る 場 所 が ほ し い	家 庭 へ の 金 銭 面 で の 支 援	家 族 の 病 気 や 障 が い い 、 お 世 話 の 仕 方 な ど に つ い て わ か り ほ し い	自 由 に 使 え る 時 間 が ほ し い
<b>【小学生】</b>						
芦別市 (n=7)	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北海道 (n=654)	68.8	8.9	7.8	1.7	3.1	8.9
<b>【中学生】</b>						
芦別市 (n=6)	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7
北海道 (n=248)	75.4	4.0	4.8	2.8	0.0	7.3
<b>【高校生】</b>						
芦別市 (n=4)	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0
北海道 (n=140)	71.4	7.9	6.4	7.9	0.0	7.9
<b>【道との比較】</b>						
芦別市全体 (n=17)	47.1	17.6	11.8	11.8	5.9	5.9
北海道全体 (n=1,042)	70.7	7.6	6.9	2.8	1.9	8.3

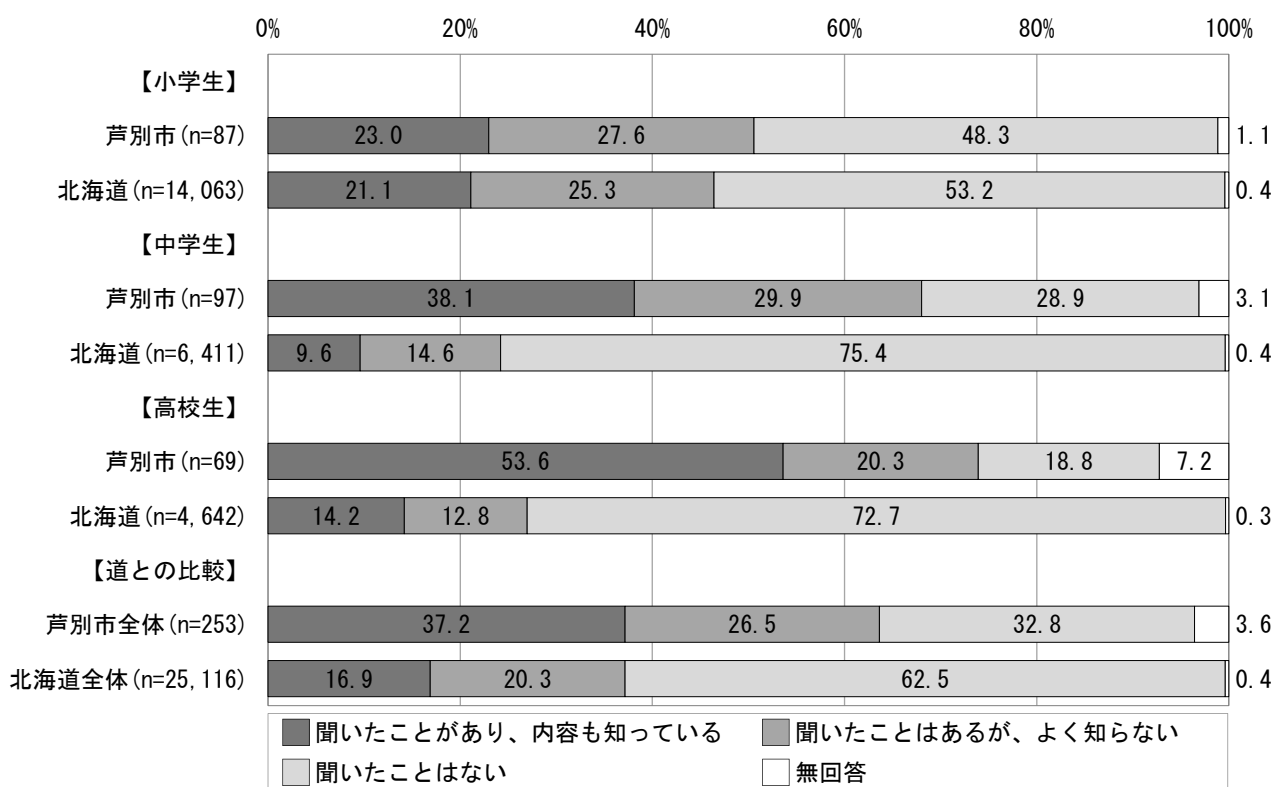
⑦自由回答

様々なご意見の中で、特にヤングケアラーと思われる人からの意見もありました。ヤングケアラーという言葉は知っていても、まわりに相談しづらいという状況がうかがえる意見がありました。

⑧ヤングケアラーという言葉の認知度

全員に対しヤングケアラーという言葉を知っているかを聞いた設問では、小学生においては、約半数が聞いたことはないと回答しています。中学生においては、約3割が聞いたことはないと回答しています。高校生においては、約2割が聞いたことはないと回答しています。年齢が上がるにつれ、ヤングケアラーの認知度が高い傾向があります。北海道と比較すると、全体的に認知度は高くなっています。

＜「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか＞



ヤングケアラーに関する実態調査報告書【概要版】

発行日／令和6年3月 発行／芦別市